

平成31年度の主な事業・経費

くらし

定住・住環境対策の促進

定住・住環境対策として導入した置戸町森と住まいの支援事業、住宅改修奨励事業は、昨年度から制度内容を拡充させたことに伴い、今年度も多くの利用が見込まれることから、合わせて1,450万円を計上しました。

交通

地域巡回バス、ラッピング実施

地域巡回バス「にこにこ号」と「ほのぼの号」は、一目でその車両とわかるよう、またより親しみを持って利用してもらえるように、ラッピングを行い、住生活環境と地域公共交通のより一層の充実を図ります。また、広報広聴活動では、まちを広くPRするためのイメージポスターとポストカードを作成します。

- ・デザインラッピング業務委託料 60万円
- ・町のイメージポスター等制作事業 220万円

福祉

高齢者と子育て世代への支援

高齢者福祉関係では、町外の医療機関にバスなどを利用して通院をされている方への交通費助成を今年度より助成割合を運賃の2分の1とし、218万円を計上しました。

児童福祉関係では、認定こども園において当初見込みに対し園児数が増加してきており、園舎の環境整備に向けて実施設計を行うため、707万円をこどもセンター補助金に増額して計上しました。子どもたちが健やかに育つことを願い、子育て世代を支える環境づくりのため、ハード、ソフトの両面で支援を図ります。

健康づくり

医療機関との連携強化

保健衛生関係では、各種検診や予防接種への助成、妊婦一般健康診査への公費負担、妊産婦への交通費助成などは継続します。新規事業として、出産後間もない時期の産婦に対する健康診査の実施、産後1年以内の産婦及び乳児に対し保健指導やケアの実施、新生児聴覚検査費用

を助成し、子育て世帯の精神的負担及び経済的負担の軽減を図ります。

関係医療機関との連携を強化するとともに、医療設備の充実を図るため、置戸赤十字病院へ1億円の助成を行います。

- ・産婦一般健康診査事業 18万円
- ・産後ケア事業 25万円
- ・新生児聴覚検査費助成事業 9万円
- ・置戸赤十字病院医療施設充実事業 1億円

産業

農業・林業の支援対策推進

農業関係では、道営事業として生産性の高い農業実現のため、農業用排水施設、区画整理などを総合的に実施する畑地帯担い手支援型事業として5,994万円を計上しました。

- ・酪農経営継続支援対策事業補助事業 140万円
- ・道営農業競争力強化基盤整備事業 5,994万円

造林事業として1億640万円を計上し、下刈りや除間伐などの実施により町有林の整備に努めます。民有林については、未来につなぐ森づくり推進事業に対し、民有林振興事業補助金として1,452万円を計上し、造林や除間伐を進め、豊かな森林の育成に努めます。近年林業従事者が慢性的に不足している状況を解消するため、雇用する事業者に対して補助金を支給するため441万円を計上し、林業の担い手確保を図り、継続した森林保全の維持に努めます。

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックの選手村施設の一部として本町の町有林の木材を提供するための費用として、加工運搬賃を計上しました。

- ・林業、林産業機械導入促進事業 600万円
- ・造林事業 8,987万円
- ・置戸町民有林振興事業 1,452万円
- ・木材加工等委託事業 100万円



平成30年度林業・林産業機械導入促進事業補助金で購入されたハーベスタ